

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月7日

団体名 はじめの一步きもの倶楽部

代表者 小出 さよみ

構成員 11人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

日本の民族衣装である着物を、式典や冠婚葬祭時のみにとどまらず、日常生活の中で自然に活用できるように、意識の醸成とともに、技能の向上を図り、和文化の継承を促進する。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和7年 10月19日	悠紀の里	ゆきファミリーパーク 来場者(人数)	体験者 25人 来場者 200人	イベントにブース出展し、来場者に 着物の着甲体験を提供した。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

体験者のみならず、ブース来場者に着物を体験するほど、和装の知識を広く告知
 することができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

年々、イベント参加者の増加があり、活動内容の認知度が向上した。
 また、構成員も増加し、内容も向上している。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。